

トレーニングモジュール X

MapLab WMS MapBrowser の使用

1. はじめに

前のモジュールでは、外部の OGC WMS viewer を使って WMS サーバーをテストしました。MapLab の MapBrowser アプリケーションは OGC Web マッピングの仕様に基づいた空間データ発見ツールです。MapBrowser を使うことで、利用者はローカルサーバーやリモートサーバーにあるマップレイヤーをブラウズしたり、まとめたりすることができます。このモジュールでは、MapBrowser ツールの使い方を説明します。

2. 目的

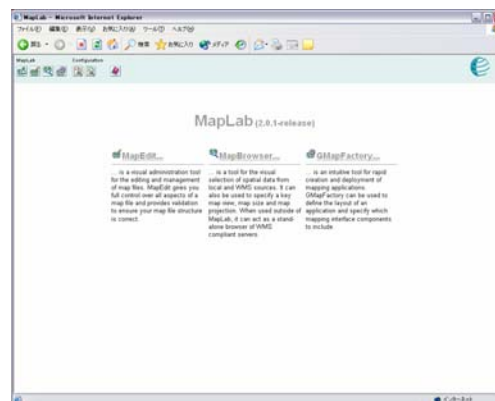
このモジュールの目的をつぎに示します：

- 2.1. WMS に従ったサーバーにある空間データをブラウズするために MapLab の MapBrowser アプリケーションに精通する。
- 2.2. リモート WMS サーバーに接続してデータの追加などを行う。

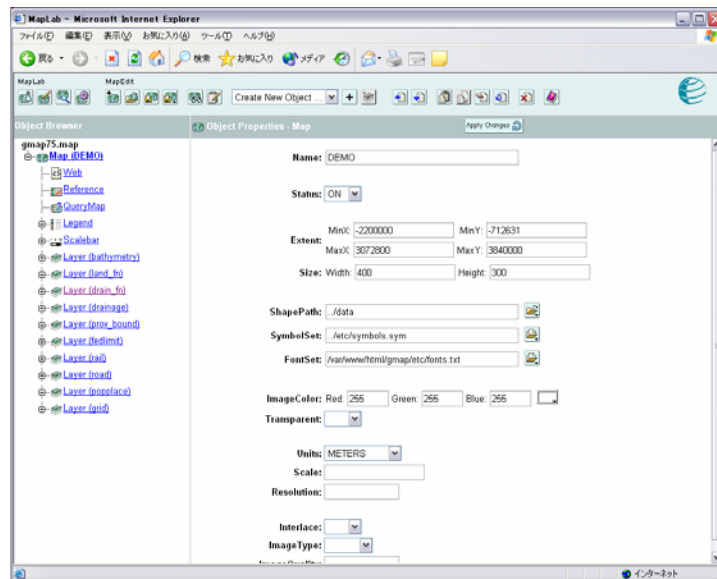
3. 手順

MapBrowser を使う第一歩として、リモート WMS サーバーに接続して、リモートサーバーからマップレイヤーを検索します。

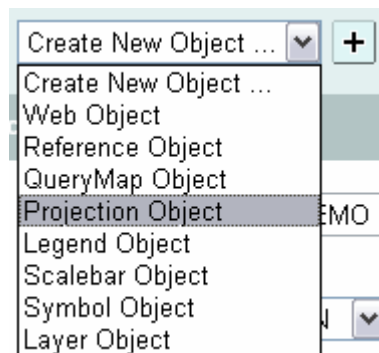
- 3.1. ブラウザを使って次の URL から MapLab アプリケーションを始めてください。 <http://localhost/maplab-2.0-release/htdocs/index.shtml>



- 3.2. MapEdit を選択して、MapFile を開いてください。今回は、gmap ドキュメントディレクトリにある gmap75.map を使います (/var/www/html/gmap/htdocs/gmap75.map) 。



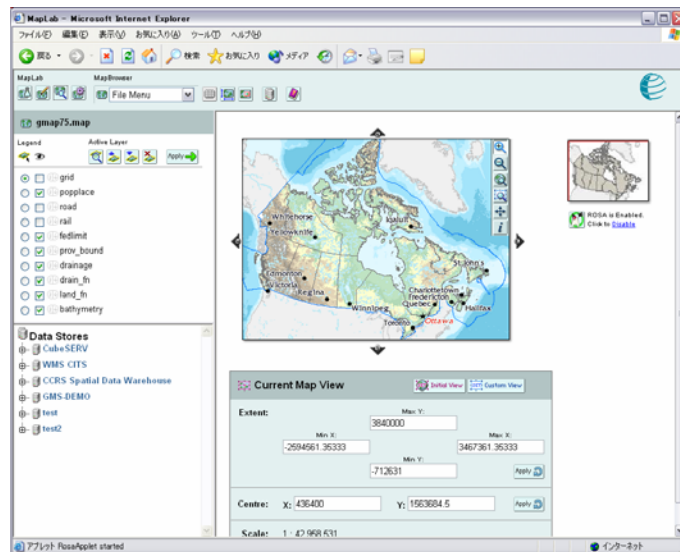
- 3.3. Projection Object を追加してください。



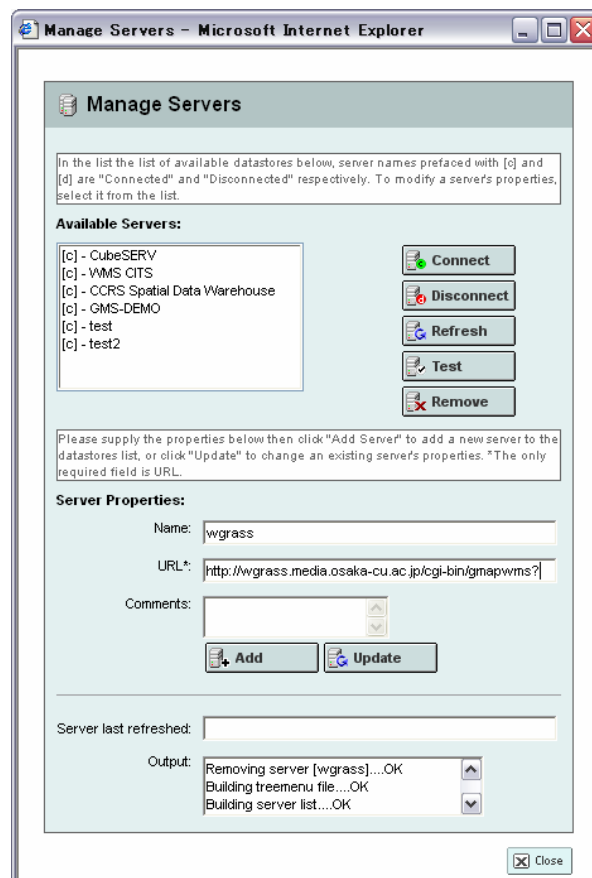
- 3.4. WMS サーバーは、EPSG コードを使ってデータの投影を示さなければなりません (EPSG コードのリストは <http://www.inovagis.org/giserver/epsg.asp> を参照してください) 。install.sh スクリプトで自動的にインストールされる PROJ4 ライブラリと EPSG コード表によって、投影を定義することができます。例えば、“init=epsg:42304” のように入力してください。

Project Attributes

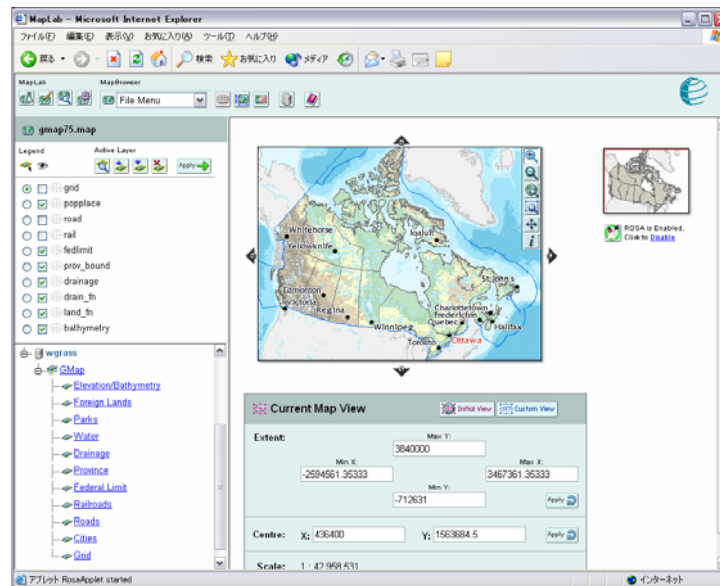
3.5. MapBrowser を開いてください .



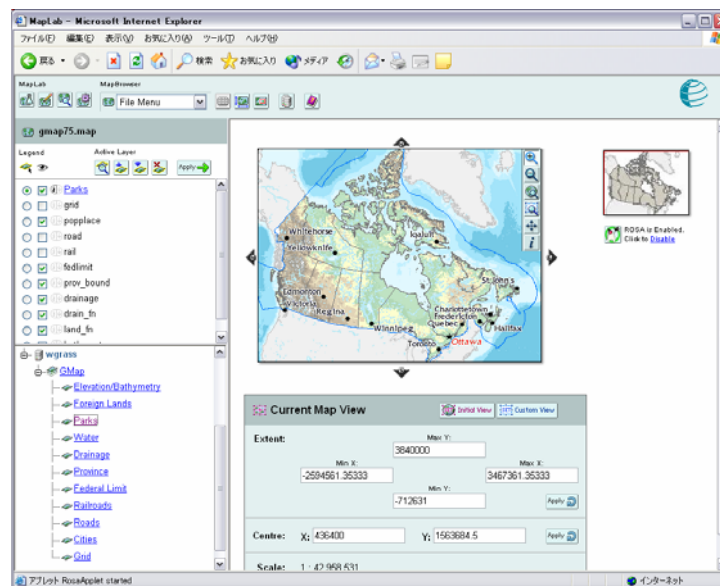
3.6. サーバー管理ボタン を押してください. Manage Remote Server ウィンドウが開きます. サーバーの名前と URL を入力して Add ボタンを押してください. ここでは, 大阪市立大学にある WMS サーバーを使います (<http://wgrass.media.osaka-cu.ac.jp/cgi-bin/gmapwms?>). Manage Remote Server にリストされているサーバーを使うこともできます.



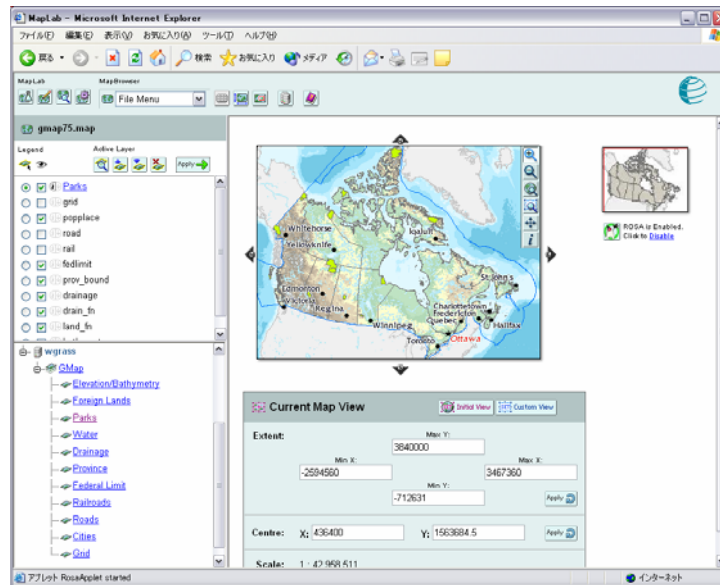
- 3.7. DATA stores にサーバーの名前（wgrass）が追加されます。追加するレイヤー名（Parks）をクリックしてください。



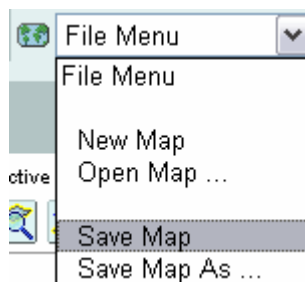
- 3.8. Parks レイヤーが追加されます。Apply を押してください。



3.9. ローカルの MapFile のリストに Parks レイヤーが追加されます。



3.10. Save Map を選択して、マップを保存してください。



3.11. Parks の選択ボタンにチェックを入れて、リモート WMS サーバーから検索した Parks レイヤーを表示してみましょう。

4. まとめ

このモジュールでは、リモート WMS に従ったサーバーに接続して MapLab の MapBrowser アプリケーションを使う方法を説明しました。MapBrowser を使って異なる WMS サーバーに接続して、利用できるサービスをまとめることができます。WMS サーバーに接続した後、ローカルサーバーとリモートサーバーにあるマップを検索してまとめることができます。